

「青梅市の地域福祉を考えるシンポジウム」開催報告

1 開催日および場所

令和5年7月30日（日）13:30～17:45

場所：市役所2階会議室

2 シンポジウム開催内容

- ・第1部 「地域共生社会の実現に向けて」

講師：大橋 謙策 会長

- ・第2部 第2層協議体活動報告

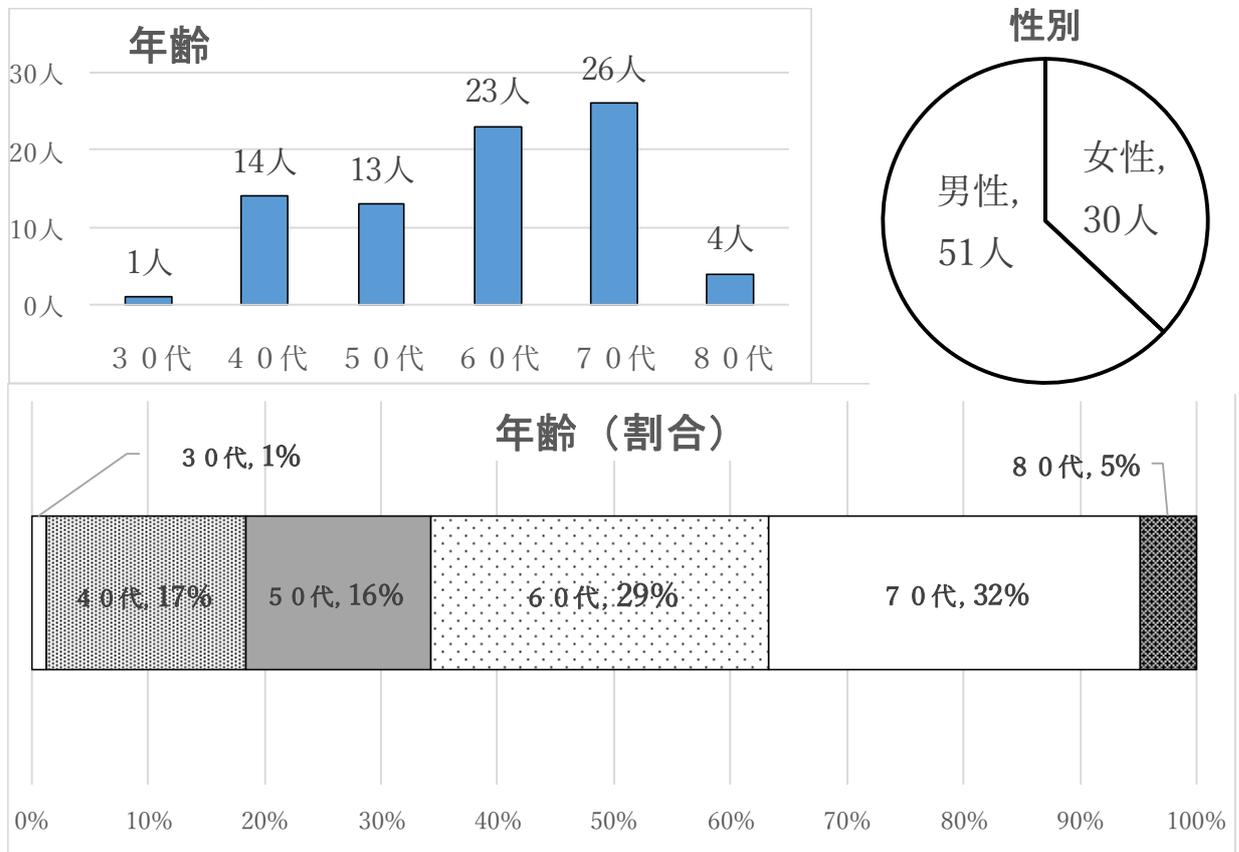
発表：10団体

講評：大橋 謙策 会長

3 参加者

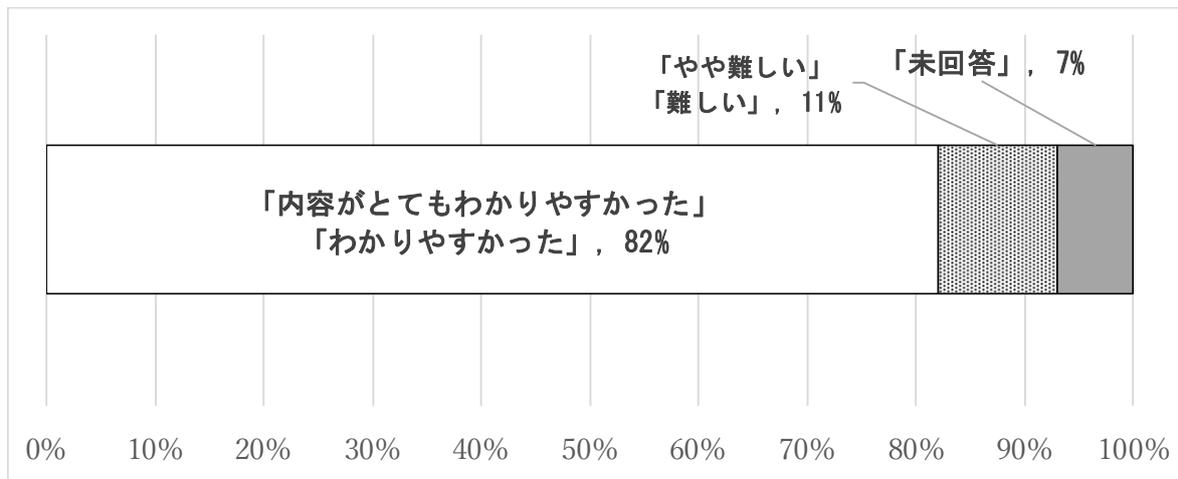
136名

4 アンケート回収結果（回収件数：81件）



〈主な内容〉

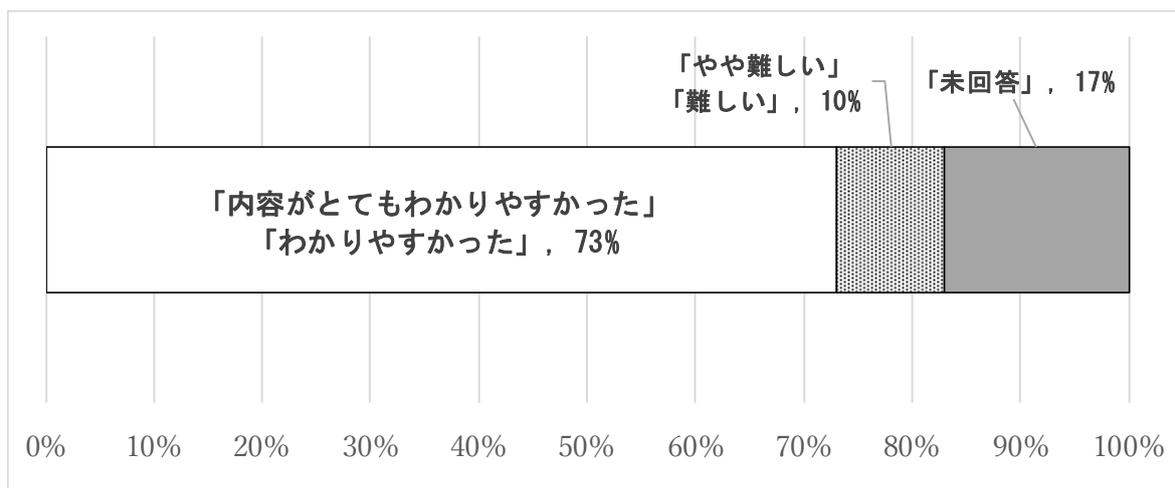
【第1部について】



(主な御意見)

- ・「地域福祉施策の歴史や現在の課題をわかりやすくお聞きできてとても興味深かった」
- ・「地域の住民が主体的に活動していかななくてはならないこと、誰もがよりよい生活をしていくために、包括支援センターや社協の力を借りていく必要があることがわかった」
- ・「先生への質問の時間があると良かった」
- ・「自分自身が地域福祉のために具体的に何ができるのかの意識を持ち、動いていきたい」「地域住民として何ができるか考えさせられた」
- ・「こども、高齢者、障がい者等と一緒に集まれる交流の場づくりを社会福祉法人とともに実現させていきたい」
- ・「行政のみでは、これからの地域づくりは無理であることがわかった」「行政にやってもらうのではなく、自分たちが何をできるのか」
- ・「大橋先生に青梅が良い福祉のまちになるよう導いていただきたい」
- ・「青梅市の実力に合わせて良い計画ができると良いと思う」
- ・「地域拠点からアウトリーチ活動が重要であることがわかった」

【第2部について】



(主な御意見)

- ・「各地区それぞれの取組実績が認識できた」
- ・「改めて地域活動の必要性を考えさせられた」
- ・「自身の活動へのモチベーションにもつながり有意義であった」
- ・「中学生や高校生が有償ボランティアに参加しているのは良い」

【シンポジウムのこと、地域共生社会のことなど（自由記載）】

- ・「関心のない住民をどう取り込んでいくか、繋がりにたくない人をどう繋げていくか、問題は山積だ」
- ・「大橋先生の講演をまたやってほしい。地域で困っている人を1人でも少なくしてほしい。」
- ・「ボランティア人口をもっと掘り起こしてほしい」
- ・「自治会あつての自治体。自治会加入を増せないことが問題。」
- ・「青梅は広い、地域も様々、一歩ずつ進めていけば良い」
- ・「地域共生社会をつくるためには、こども、高齢者、障がい者等縦割り行政をなくし、横断的に当事者と接する窓口をつくるべき」
- ・「地域住民としてやることはまだまだたくさんある。地域住民同士が相互理解を深める機会を増やしたい。」